

聖徳学園シリーズコンサート

(会場:聖徳大学川並香順記念講堂)

山本 真(指揮者)

1948年広島生まれ。14歳よりホルンを始める。
1966年東京藝術大学入学。ホルンを谷中甚作氏に師事。
1969年在学中に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。
同年、東京藝術大学において安宅賞受賞。
1970年東京藝術大学卒業。
1973年日本フィルハーモニー交響楽団退団。同年、東京
藝術大学管弦楽学部講師。
1974年NHK交響楽団入団。



1981年父・故山本正人指揮 東京吹奏楽団第35回定期演奏会を父が急病のため、代わりに指揮を務める。これをきっかけに吹奏楽の指揮者としての活動をはじめる。

1984年カラヤン指揮、ベルリンフィルハーモニー交響楽団東京公演参加。
1997年デュトワ指揮モントリオール交響楽団日本公演全5回参加。FMリサイタル、テレビサイトに出演する等、ホルン奏者として活躍する傍ら、父の後を継いで、父が初めて日本に作った吹奏楽バンド「聖徳レディーズウインドオーケストラ」の指揮をする。

2004年3月不働の2ndホルンとして30年在籍したNHK交響楽団を退団。現在、聖徳大学音楽学部客員教授、武蔵野音楽大学講師として後進の指導にあたっている。他、近年では、多摩ウインドオーケストラ、日本各地の吹奏楽バンドを指導、指揮するなど、指揮者としての活動にも大いに力を尽くしている。
2005年～2019年、2021年～2023年聖徳大学シリーズコンサート「第九の夕べ」指揮。

国際ホルン協会会員。日本ホルン協会会員。

柏原 奈穂(ソプラノ)

東京藝術大学卒業、同大学院オペラ科修了。卒業時にアカンサス音楽賞受賞。文化庁海外研修員としてイタリアへ留学。F.モラルッキ国立音楽院を最高点の成績で修了。オペラでは、「後宮よりの逃走」(コンスタンツェ)、「ドン・ジョヴァンニ」(ツェルリーナ)、など多数出演。パッサ・コレギウム・ジャパンの国内外公演に参加し、ヘンデル作曲「ユダス・マカベウス」ではソロを務めた。第11回世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2005」で優秀者として、ドイツでの本選に出場。聖徳大学音楽学部准教授。日本声楽家協会研究所・教育センター講師。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。



磯地 美樹(メゾ・ソプラノ)

東京藝術大学声楽科卒業。同大学別科修了。二期会オペラ研修所第43期マスタークラス、同オペラ・プロフェッショナルコース修了。ドイツ・ヴァイマルリスト音楽大学に留学、AufbauA修了。「カルメン」や「魔笛」、「ヘンゼルとグレーテル」や「ワルキューレ」、「蝶々夫人」などのオペラ、東京交響楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会、「マーラー交響曲第2番・復活」、ベートーヴェン「第九」、ミサ曲などコンサートなどに多数出演。ドイツ、チェコ、スペイン、トルコ、ザルツブルグ、ハンガリー等でコンサートに出演。2016、17、18年、愛知、神奈川、大分にて「魔笛」に出演。20年、23年、二期会「椿姫」にアンニーナ役で出演。二期会会員。聖徳大学音楽学部講師。



布施 雅也(テノール)

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程(オペラ専攻)修了。第十五回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第一位。併せて中田喜直賞受賞。NHK-BSプレミアム『クラシック倶楽部』“林光 うたの世界”に出演するなど、日本歌曲の演奏で各地にて評価を得ている。新国立劇場、日生劇場、東京室内歌劇場などのオペラ公演にも出演。またヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等のテノールソロも務める。聖徳大学音楽学部講師。桐朋芸術短期大学専任講師。日本声楽家協会研究所・研究科副主任。日本声楽アカデミー会員。



甲斐 栄次郎(バリトン)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。2003年にウィーン国立歌劇場にデビュー、その後、10年間に渡り同歌劇場の専属ソリスト歌手として第一線で活躍。エディタ・グルベローヴァとの共演で高い評価を得たノッティンガム公爵(ロベルト・デヴェリユー)をはじめ、エンリーコ、ベルコーレ、シャープレス、マルチェッロ、レスコー等、イタリア・オペラ作品のプリモ・バリトン役において特に高い評価を得る。国内では、オペラ出演の傍ら「第九」、「レクイエム」、「エリヤ」等のソリストとしても活躍。聖徳大学客員教授。洗足学園音楽大学客員教授。東京藝術大学教授。二期会会員。



聖徳大学川並香順記念講堂



聖徳大学川並香順記念講堂は、創立者の川並香順・孝子両先生を記念して昭和55年11月に建設されたものです。

最高度の音響・照明機能・舞台機構を備えた約1400名収容のホールで、クラシック音楽を中心とした多目的かつ技術的に高度な利用ができるよう設計されています。さらにオランダ・フレントロップ社製のパイプオルガン(56ストップ)が舞台中央の奥にあり、演奏目的に応じて前後に移動できる、世界でも大変珍しい機構をもっています。また特筆すべきことは、美術家であり聖徳大学短期大学教授であった故利根山光人先生と、彫刻家の多田美波先生が講堂各所の壁画、緞帳、照明器具・シャンデリア等のデザイン・制作をしたことです。なお2面の緞帳は、昭和56年度の吉田五十八賞(建設関連部門)を受賞した作品です。



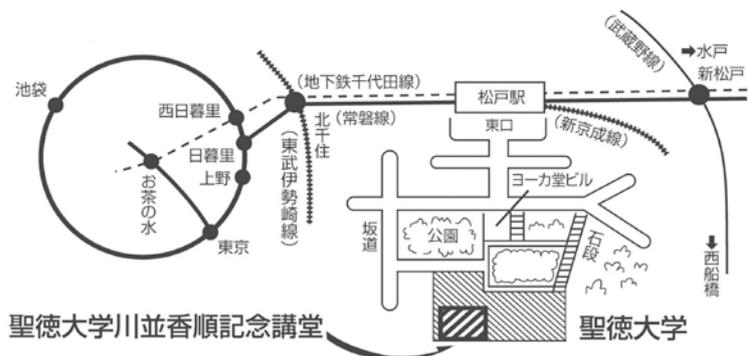
会場案内

～松戸駅東口より徒歩5分～

交通案内

一松戸駅には一

- ・JR常磐線「上野駅」から約20分
- ・千代田線「西日暮里駅」から19分
- ・京成バス「市川駅」から約35分
- ・新京成線「津田沼駅」から50分



お問い合わせ：聖徳大学教育支援課音楽支援グループ ☎047(365)1111(代)